

コロナ禍の経験をふまえ、新たなステージへ ～ボランティア・市民活動の輪を広げよう～



人とつながり、人々が連帯して築くボランティア・市民活動は、コロナ禍の2年間、停滞を余儀なくされました。しかし、感染症対策に配慮して活動を再開したり、オンラインを活用した情報共有などを通じてこれまでのつながりを保つ取り組みや、新たなつながりを築く取り組みが各地で続けられています。一方で、ボランティア・市民活動に携わるみなさんは、それぞれのご事情によって、いまは活動は再開できないとしても、活動の仲間や支援を必要とする人と連絡を取り合い、互いを気にかけて励まし合うことも、貴重な営みにつながると思います。

「広がれボランティアの輪」連絡会議は、支援を必要とする人々がいるなかで、コロナ禍のもと活動を継続しているみなさん、そして新たな活動にふみだしているみなさんに、心からのエールを送ります。

しかし、コロナ禍の終息には、もうしばらく時間を要します。

日本のボランティア・市民活動は、これまでもさまざまな困難を乗り越えて進められ、発展してきました。「広がれボランティアの輪」連絡会議では、昨秋に開催したボランティア全国フォーラムにおいて、どんな状況のもとでも、そのなかでできるボランティア活動を模索し、活動の準備を楽しみ、チャレンジを続ける考え方を学びました。

現在の世界や日本、そしてみなさんが暮らす地域では、多くの解決しなければならない社会課題が発生しています。

「広がれボランティアの輪」連絡会議は、コロナ禍のもとでもこれらの課題に向き合い、解決のためのチャレンジを続けて進められるボランティア・市民活動が、これからの持続可能な世界や地域づくり、そして誰もが尊重される社会につながることを確信しています。そして、ボランティア・市民活動に携わるすべてのみなさんが、より活動を進めやすい社会や条件づくりをめざして、2024年の創設30周年に向けた活動を展開するとともに、さらにその先に向けて歩みを進めます。

ボランティア・市民活動の新たなステージをめざして、お互いにつながり続けましょう。

2022年6月14日 「広がれボランティアの輪」連絡会議